

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		第九公演			所管	文化産業観光部 文化振興課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 5 6 年度	[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	「台東第九公演」事業費補助金交付要綱			
	事業対象	直接の対象:台東第九公演実行委員会(区・台東区民合唱団・東京藝術大学)、最終的な対象:区民をはじめ広く一般					
	事業目的	台東第九公演の開催を通して、区民が芸術活動に参加する機会や芸術に触れる機会を提供することにより、台東区の芸術・文化の発展・向上を図る。					
	事業内容	台東第九公演の開催に向けて台東第九公演実行委員会を構成し、一般公募による合唱参加者の募集、合唱の練習場所や公演会場の確保、公演のための広報活動及びチケットの販売等を行う。					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	なし					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	助成件数	件	1	1	1	1
		合唱練習回数(練習会場提供回数)	回	15	15	15	15
	成果指標	合唱参加人数	人	240	242	247	262
		公演充席率(入場者/客席数)	%	95.0	89.5	96.9	95.1
	決算額	(単位:千円)			2,100	2,100	2,100
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			2,083	2,130	2,125
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,100	2,100	2,100
		総経費			4,183	4,230	4,225
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
	一般財源(区負担額)			4,183	4,230	4,225	
前回評価から改善した事項	会場設営費の増加や消費税の引き上げ等に伴い、当初合唱団の負担金の増を予定していたが、印刷費を削減することで合唱団の負担金を増やすことなく例年通りの収支に収めた。また、例年の広報活動に加え、区のケーブルテレビ20分番組にて事業の目的や内容についてPRし、更なる周知を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	合唱募集は定員を超える応募があり、公演チケットは完売となるなど第九公演のニーズは高い。また、区民合唱団は参加者募集や合同練習、東京藝術大学は指揮者・オーケストラや公演会場手配等、区は調整、チケット販売、PR等と適切に役割分担が行われているが、事務局として区の関与は必須である。				
	効率性	3	東京藝術大学と共催することで、公演会場については無償で使用する事ができ、合唱練習場所も放課後の区内中学校体育館を有効に活用することで、使用料等のコストを抑えることができています。				
	手段の適切性	4	区補助金額は例年どおりであり、その総事業費にかかる割合は半以下に抑えられている。残りは事業収入でまかない、最小の経費で運営している。				
目的達成度	4	合唱参加人数は262人であった。また、公演充席率については95.1%(客席数1,102席に対して入場者数1,048名)とともに安定して高い水準を保っている。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	
昭和56年から34回に渡り継続している事業として、下町の冬の風物詩として定着しており、区民の関心も高い。しかし、若年層の合唱参加者・入場者が少ない状況であるため、より幅広い世代に参加・来場していただけるよう、引き続きホームページやツイッター等活用してPRに努めていく。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了